

NEWS RELEASE

<<http://www.takara-bio.co.jp>>

平成20年8月26日

T B 0 8 - 2 5 2

医療法人社団・医聖会は、タカラバイオの技術支援のもとに、 京都市内で細胞免疫療法によるがん治療を開始します

タカラバイオ株式会社(社長:加藤 郁之進)と医療法人社団・医聖会(理事長:真鍋克次郎)は、当社の技術支援のもとに医聖会ががん細胞免疫療法を行うという契約を本年6月3日付けで締結しておりましたが、いよいよ医聖会百万遍クリニック(京都市左京区)で本年9月下旬よりがん細胞免疫療法の治療を開始することになりました。

がん治療の現状は、外科手術、放射線治療、化学療法などが併用されていますが、一般的にはがん患者のQOL(生活の質)が大きく損なわれることが多いと考えられています。この問題を解決するために、副作用の少ない、がん細胞免疫療法が世界的に広まりつつあります。がん細胞免疫療法は、患者自身のリンパ球を、自身のがん細胞を攻撃できるように体外で活性化し、その細胞数を増やしてから、患者の体内に再び戻し、がん細胞を破壊に導くというものです。この際に、インターロイキン2及び抗CD3モノクローナル抗体を用いて活性化し、活性化されたリンパ球の数を増やして戻すのが最も基本的な方法です。当社では先進的なリンパ球活性化法を種々開発しており、三重大学医学部では当社と共同でレトロネクチン活性化法に基づいたがん細胞免疫療法の臨床研究をすでに開始しています。当社は、現在まで多くの遺伝子治療技術の研究開発の過程で培った細胞増殖技術や、より安全にリンパ球を増殖するために細胞調製室(Cell Processing Room)の閉鎖系システムなどのがん細胞免疫療法のノウハウを、医聖会に提供します。

また、当社は本年5月1日より京都府立医科大学に先進的ながん細胞免疫療法の臨床開発を行うための寄附講座(がん免疫細胞制御学講座 吉川敏一教授・古倉聡准教授)を設置しておりますが、今後、当社とこの寄附講座が共同で行う臨床開発の成果を、医聖会百万遍クリニックでの治療にアウトプットしていきます。

医聖会は、八幡中央病院、京都八幡病院、学研都市病院などを中心として、高い専門性を持ちながら、地域住民の方々のニーズに応えられる総合的な医療機関を目指しています。たとえば、脊椎手術をはじめとする難易度の高い整形外科手術は年間1,100件以上あり、日本有数の実績を持っています。医聖会は、地域医療、地域福祉に貢献する総合的な医療機関を目指すという考えのもと、**百万遍クリニックでがん細胞免疫療法を開始します。**

【医療法人社団 医聖会の概要】

所在地：京都府八幡市八幡五反田 39-1

理事長：真鍋克次郎

関連施設：八幡中央病院、京都八幡病院、学研都市病院、百万遍クリニック、介護老人保健施設石清水、訪問看護ステーション梨の里、八幡市乳幼児健康支援デイサービス事業たんぽぽ、精華町病後児保育事業病後児保育室ひまわり、真鍋整形外科医院

【医聖会 百万遍クリニックの概要】

所在地：京都市左京区田中門前町 103-5

電話番号：075-791-8202

概要：医聖会が、財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター(理事長:片山傳生)より附属診療所の営業譲渡を受け、平成20年4月に開設したクリニック。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先
タカラバイオ株式会社
バイオインダストリー部
Tel 077-543-7235

< 参考資料 >

【語句説明】

インターロイキン 2(IL-2)

リンパ球が分泌する糖蛋白質でサイトカインの一種。T 細胞増殖因子ともよばれ、リンパ球を増殖させる働きがあります。

抗 CD3 モノクローナル抗体

CD3はヒトリンパ球上に存在する表面抗原分子の一つで、抗CD3モノクローナル抗体は、このCD3分子を特異的に認識する均一分子の抗体です。抗CD3モノクローナル抗体がリンパ球上のCD3分子に結合すると、T細胞が活性化されると考えられています。